

「御言葉で生きる生活」

伝道者の書 3:1~11

2015.12.27 Alex Tan

1

概観

マタイ4:4にあるように、御言葉で生きることを通して、神様の人格、タイミング、方法などが分かってくる。神様に従う生活が一番幸せで、意味のある生活。

アウトライン

1. 神様のタイミングを信じるように V1-V8
2. 労苦を乗り越えるように V9-V10
3. 永遠の神様に向かうように V11
4. 適用

2

1. 神様のタイミングを信じるように V1-V8

- 1) V2-V8で14対の行動が書かれている。クリスチャンになったら、神様の主権を認めて、謙って生きることが大事。神様が一番ご存じ。
- 2) 2000年に献身の召命、入社、転勤、出産、転勤、海外赴任、再献身。神学の基礎と会社のスキルを活用できた。
- 3) 神様の巧妙なタイミング: 入社(留学生優遇)、出産(こども病院)、再献身(中国転勤)。自分で先走ってはいけない。全知全能の織り手にデザインを任せるべき。

3

2. 労苦を乗り越えるように V9-V10

- 1) 労苦が与えられ、試練に通らされ、何の益になるのか? 自我が碎かれ、労苦を乗り越え、神様に近づくため。
- 2) 子どもの不登校。経済>子どもの気持ち。夫婦関係(分業)⇒自分の姿(不安症)⇒神様との関係(先走る)。神様の方法: 高熱と猫。
- 3) 葛藤と失敗の連続。御心とタイミングへの疑問、自分の計画とのしがらみ。短気、受容力の無さ、熱狂的な信仰で他人を傷つけていく。ヘブル12:1-2を握って走りつづけよう。

4

3. 永遠の神様に向かうように V11

- 1) 次の山: 不登校⇒親族の死。御言葉の完成はまだみたい。「なぜだろう?」という限界。御心を理解する知恵と力がないことを認め、神様に向かっていく。I コリント10:13を握る。
- 2) 更なる試練: 親族の入院。信仰と聖霊が与えられるように祈りつづける。できることを行ない、他人を支え、神様にゆだねていく。
- 3) 「主よ!」という祈り。傷を通して神様に仕えていく。弱っている時こそ、主が働かれる。(説教、賛美リード、入門コースなど)

5

4. 適用

- ① 自分の年間聖句を祈り、与えていただく。
神様の一年のご介入を学ぶチャンス。
- ② 教会の年間聖句を守る習慣。
創世記12:2。自分は周囲の祝福となったのか? 教会の一員として、教会のビジョンの前進に参加し、御国に貢献していく。
- ③ 日々御言葉で養われるライフスタイル。
デボーションを続け、説教の適用を実行する。牧師のために祈る。神様に期待する姿勢。

6